

(様式 1)

校種	① 小・中 どちらかに○	学校番号	27	学校名	宇都宮市立清原北小学校
----	-----------------	------	----	-----	-------------

平成23年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤に、自ら考え正しく判断し、豊かな心をもってたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標

- 自ら考え工夫する子 ○こころ豊かで思いやりのある子 ○気力と体力のあるたくましい子
【考え方】 【こころ豊かで】 【たくましく】
活用期 活用期 活用期 活用期 活用期 活用期
自ら考え工夫する子 こころ豊かで 思いやりのある子 気力と体力のある
(5・6年) (1~4年) 親切で思いやりのある子 たくましい子
基礎期 自分で考え方学習する子 元気で頑張る子
(1~4年)

2 学校経営の理念

「小規模特認校として、保護者や地域から信頼され協力し合いながら、夢と理想をもって共に成長していく学校」

小規模特認校として、保護者・地域と共に新しい学校を創っていくことが重要である。まず、教職員が「児童とともにある教育活動」の実践を通して信頼を得て、学校が地域の核となり保護者や地域を巻き込みながら教育環境の充実・向上に努力し、特色ある学校としての評価を高める。

3 学校経営の方針

(1) 地域の教育力の充実

- P T A, K A S A, 地域学校協議会の双方向的相互協力による教育的活動の場を充実させる。
○ 開かれた学校を実践し、地域の教育的資源の活用と教材化を図る。
○ 清原地区学校園構想の具現化を図り、9年間を見通した教育実践に取り組む。

(2) 個に応じた指導による基礎学力の定着

- 授業実践を充実させ、児童の学習状況を的確に把握し学習内容の理解を確実なものとする。
○ 国語科、算数科、会話科におけるモジュール学習の充実を図る。

(3) 「学ぼうとする力」の育成

- 学習ガイダンスや学習カウンセリングを充実させる。
○ 個人内評価を充実させ全国的な検定試験を活用し、自己の成長を実感させる。

(4) 「自己実現力」の育成

- 教育活動場面における問題解決的な学習過程を充実させる。
○ 表現の場や相互理解のためのコミュニケーション力育成のために指導を充実させる。

(5) 「よりよく生きようとする力」の育成

- 道徳教育を充実させ、特に道徳的実践力育成の場として特別活動の強化を図る。
○ 清北タイムや特別活動の実践を通して、人間関係構築力の育成を充実させる。
○ 発達段階に応じた系統的な指導を実践し、基本的な行動規範を身に付けさせる。

(6) 「健康的な生活を創る力」の育成

- 食育と保健指導、体力向上のための指導を関連させた健康指導を充実させる。
- 学習と生活をつなげる体験的な活動を充実させ、生活を創ろうとする意欲を高める。

(7) 教職員の協働性の向上

- 専門職として目標達成を指向した教育実践や自己研修に努める。
- 内部評価や外部評価を活かし、学校組織の柔軟性や機動性を高め学校経営の活性化を図る。

4 今年度の重点目標

(1) 学校運営

地域の学校としての小規模特認校の特色と地域学校園における小中一貫教育の特色を関連付けながら基礎学力の充実を図り、保護者や地域との信頼・協力関係の向上を図る。

(2) 児童生徒指導

基本的な生活態度を身に付け、よいことと悪いことの区別ができる規範意識を持った児童の育成（第1年次）

(3) 健康・体力

体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣をもった児童の育成（第3年次）

(4) 学習指導

進んで他者と関わりながら音楽を楽しもうとする児童の育成（第1年次）

5 児童生徒指導、健康・体力、学習指導に関する取組

※ 別紙1～3参照

6 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力

○ 自ら表現し他者と関わり合いながら、学習を生活に活かそうとする態度の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクトくきよきた船頭プログラム」関連には、文頭に◇）

○ 表現力やコミュニケーション力を育成する指導の充実を図る。

・ 国語、算数、会話モジュールの時間、会話科「ことばの時間」の充実

◇ 地域の教育的素材（歴史的、地理的、環境的、福祉的等）を活かした各教科、領域、総合的な学習の時間（元気キッズタイム）の実践

【学習素材】 ① すぎの芽学園及び学園生との交流活動

② エコパーク板戸における環境学習

③ 地域素材マップ「I T A D O 水めぐり」

【学校行事】 ① 地域学校大運動会「きよきた Sendo」

② きよきた船頭まつり

③ 学校劇「船頭物語」

○ 個々の児童の学習状況を適切に把握し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。

- ・ 教育相談（年間3回）、保護者懇談（年間4回）、個人及び三者懇談（年間2回）の開催
- ・ 学習内容定着度調査、各種検定試験（漢検、数検、英検）の実施
- ・ 個別ファイル（学習及び生活の記録）の充実

○ 食育と保健及び体力向上指導を関連させた健康指導（SUKU₂プラン）を実践する。

- ・ スクスクタイム（月1回、15分間）の実施
- ・ 地産地消、全校ランチルーム給食の実践
- ・ 養護教諭及び学校栄養士による健康授業（TT）及び健康相談（年間2回）の実施
- ・ 小中の連続性を図った3種目（鉄棒認定、水泳認定、縄跳び認定）の体力認定及び2種目の大会（川の一里塚マラソン大会、縄跳び大会）の実施